

さかいで夏休み



Photo by Hani Eriani

大阪南部の堺市で、2016年夏休みの保養を準備中です

2015年の春には泉北で2家族を迎えて保養を行いました。次は堺市中区で夏休みにゆったりと過ごしていただき、リフレッシュしてもらいたいと思っています。

期間：8月3日～8日。

場所：堺市中区

定員：2家族（幼児～小学校低学年の子どもさんと保護者）

費用：交通費は全額支給、参加費（大人8,000円、子ども4,000円）が必要。
その他は無料（宿泊、食事などの滞在費）。

募集地域：原発事故により放射能の影響や不安のある福島・宮城・岩手の三県。

現地からの交通費・宿泊費・食費・活動費など、保養の運営には皆様のカンパが必要です。少額でも結構ですので、よろしくお願いします！！

○口座名義

ニコニコ連さかい保養実行委員会

ニコニコレンサカイホヨウジッコウインカイ

○ゆうちょ銀行

記号 14110

番号 29440191

○他の金融機関から送金する場合（手数料が必要）

店名 四一八（読み ヨンイチハチ）

店番 418

普通 2944019

カンパのお願い

ニコニコ連さかい保養実行委員会

電話：090-3611-7445(大内) メール：nikoren-sakai@outlook.jp

ブログ：<http://sakaidehoyou.cocolog-nifty.com>

保養プログラム ってなに？

関西の大空のもと、
思いっきり遊んで
くつろいで、親子共々
リフレッシュできるね。

福島第一原子力発電所の事故の報道は、かなり少なくなりましたが、放射能の危険がなくなったわけではなく、除染をしても効果は限られています。

しかし、政府が示した避難区域はとても狭く、本来であれば避難すべき区域に、仕事や金銭的理由、精神的理由など、様々な理由で今も生活している人がたくさんいます。

放射能は、特に子どもたちに大きな健康被害をもたらします。

子どもの甲状腺がんは本来めったに見られない病気ですが、検査をするたびに増え続けています。



汚染の高い地域を一定期間離れ、汚染のない食べ物を食べ、 思いっきり外で遊ぶことにより心身を休めるプログラムです。

全国でさまざまな団体が自治体や企業の協力も得ながら受け入れに取り組んでいます。

保養ってどんな 効果があるの？

1. リフレッシュして抵抗力を回復！

子どもは新陳代謝が活発で排出も早いと言われていますが、日々慢性的に被ばくを続けると、少しずつ体内に放射性物質が蓄積されてしまいます。ですが、汚染されていない地域で一定期間過ごすことで、体内の放射能が減り、体の抵抗力も上がります。

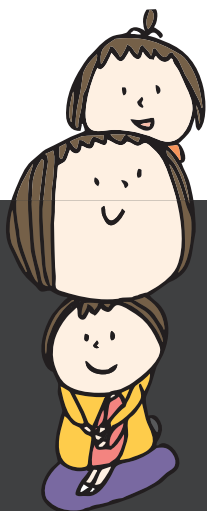
チェルノブイリ事故周辺地域では今も保養が取り組まれており、体内放射線量の低下や症状の改善が報告されています。

2. 避難・移住に向けたステップに！

福島県内では不安な気持ちを抱えながらも、色々な理由で避難・移住できない人が大多数です。

これまでの仕事や人間関係から離れ、見知らぬ土地で生活を一から築く避難・移住は経済的にも精神的にも大変困難なことです。離れることができない以上、「危ないよ」という声には頑なに耳を閉ざし防護対策をとらない人や、「仕方ない」という諦めと、不安を口にできない空気さえ福島県内に広がっているといえます。

保養プログラムを経て様々な情報に出会い、保養先に人間関係ができ情報や支援を得て避難へと結びつくケースが生まれています。



「たくさんの方があなたたちを思っているよ」と
子ども達やその家族全員に実感してもらうことは
絶望的に思えた状況にも力と勇気を与えます
それは他では決してできない支援じゃないでしょうか？